

2月議会はじまる

—国保料一人平均5300円の引き下げ予算提案
市民の運動と党市議団の論戦実る

2月10日から3月20日までの日程で27年度当初予算等を審議する市議会がはじまりました。党市議団は5人全員が本会議で論戦します。

市長提案の予算案では、合併後10年にわたって市民が「高すぎる国保料を引き下げよ」という運動と、党市議団が毎年議案提案権を使った条例改正案が初めて実り、不十分ながら一人平均約5300円の引き下げが盛り込まれました。

また、党市議団が毎年代表質問で提起してきた中山間地振興条例の制定が、当局提案の「オクシズ地域おこし条例」案としてみのります。

いっぽう、公的責任を後退させる「子ども子育て支援新制度」や市立病院の独立行政法人化などが強引に推し進められるとともに、介護保険料・後期高齢者医療保険料などの値上げが市民に押し付けられます。

寺尾昭議員が代表質問、他の4議員が総括質問を行います。

日本共産党 静岡市議会議員団

ニュース

2015-No.3

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内)4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcps.jp/
メール yksf5@jcps.jp

2月定例会での本会議質問

〈代表質問〉 3月5日(木)

寺尾 昭議員



- ・わが党の市政に臨む基本姿勢について
- ・市長の政治姿勢を問う
- ・行政運営について
- ・福祉、医療の抜本的改善に向けて
- ・地域経済活性化を図るために
- ・消防広域化に向けて
- ・文化、スポーツの振興
- ・環境行政について
- ・市営住宅整備計画について
- ・道路、河川行政
- ・こどもたちのための教育を
- ・上下水道の整備促進を

〈総括質問〉 3月6日(金)9日(月)

西谷博子議員

- ・介護保険・高齢者福祉について

鈴木せつ子議員

- ・子どもの貧困対策について
- ・国民健康保険について

山本 明久議員

- ・「地方創生」と人口減少への対応

内田 隆典議員

- ・独法・LNG・合併後の制度統一について

2月定例会会議日程

会期	2/10~3/20(39日間)	○常任委員会
会場	静岡庁舎本館	午前10時より
○本会議	午前10時より	3/11(水) 12(木)
2/10(火) 開会日		〈総務委員会〉
3/4(水) 総括質問1日目		〈上下水道教育委員会〉
3/5(木) 総括質問2日目		〈生活文化環境委員会〉
3/6(金) 総括質問3日目		3/13(金) 16(月)
3/9(月) 総括質問4日目		〈厚生委員会〉
3/20(金) 最終日		〈経済消防委員会〉
		〈都市建設委員会〉

就学援助制度の拡充を

生活と健康を守る会が市教育委員会にたいして、2月13日、就学援助制度について、改善を求めました。

- ①生活保護基準引き下げによって不認定を生じさせないこと
- ②クラブ活動費、生徒会費、PTA会費も支給対象に
- ③入学準備金を7月より早めて支給などを要望。

市はH26年4月時点の基準で認定するので、不認定は減ると対応しました。



清水港に火力発電所計画(LNG) 200万キロワット規模

東燃ゼネラル石油は清水港袖師地区に、液化天然ガス(LNG)火力発電所を建設すると発表しました。

しかし、建設予定地はJR清水駅から500メートルとあまりにも市街地に近すぎる、また、南海トラフ地震が起きるとされている地域に建設は無謀だと指摘されています。

党議員団は同社から直接聞き取りを行いました。

さらなる国保料引き下げへ 一般会計の支援を元にもどせ

来年度国保料を1人あたり5381円引き下げがついに実現します。

しかし、一般会計からの支援を約8億円も減らしたので引き下げはわずかです。支援をもとに戻せばH28年も引き下げできます。